

# 令和4年度の学校評価

<p>令和4年度の 重点目標</p>	<p>①社会の動向や教育界の動きを注視し、120年の歴史と伝統を発展させるとともに時代に対応した教育活動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解コースの魅力の発信に努め、地域社会や地元中学生に一層の理解を深める。</li> <li>・地域の人的・物的資源等を活用しながら効果的な教育活動を推進する。</li> <li>・持続可能な開発目標であるSDGsの視点を踏まえた学びをより一層推進する。</li> <li>・学校図書館の活用を通して、主体的、意欲的な読書活動の充実に努める。</li> </ul> <p>②行動力と思いやりを備えた、地域を支えるリーダーとなる生徒を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育内容の一層の充実に努め、グローバル化、情報化などの社会の変化に主体的に対応する能力を育成する。</li> <li>・学校行事、部活動やボランティア活動への積極参加を促し、統率力、協調性、粘り強さ、社会性を備えた人間力豊かな生徒を育てる。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、指導方法の工夫改善に努める。</li> <li>・新しい生活様式を踏まえた衛生管理に努め、学校ならではの学びを最大限確保する。</li> </ul> <p>③清潔で落ち着いた教育環境、安全・安心な学習支援体制を整備し、規律を守る品位・品格ある心身ともに健康な生徒を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の生命尊重の理念のもと、交通安全意識と交通マナーの向上に努めるとともに、他の人々や地域の安全に貢献できる生徒を育てる。</li> <li>・教育相談の充実に努めるとともに、スクールカウンセラーや関係機関との連携を図り組織的かつ迅速に適切な指導及び支援を行う。</li> <li>・日常の清掃活動を通して高い衛生・環境意識を醸成する。</li> <li>・学校や地域の防災力に貢献できる防災リーダーの育成に努める。</li> </ul> <p>④効率的・効果的な業務遂行の機運を醸成し、教職員の多忙化解消を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システムの活用を一層推進するとともに、情報共有や連絡調整に係る手段をデジタル化するなど、ICTを活用した校務効率化に努める。</li> <li>・学習や部活動における生徒の主体性をいかし、運営方針を遵守した部活動指導を行い、教職員の業務内容にメリハリを持たせる。</li> </ul>		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
<p>広報活動 （総務部）</p>	<p>学校や地域の防災力に貢献できる防災リーダー育成の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する知識や防災活動のノウハウを学んだ生徒たちに、校内における普及活動を行う場を設ける。</li> <li>・地域の防災活動にも参加し、地域に貢献できる生徒の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災委員を中心に防災リーダーの育成に努め、五つ葉会や生徒会と連携を取りながら、自ら考え、行動にうつせる能力の育成を目指す。</li> <li>・防災リーダーからの発表・報告を文化祭や防災避難訓練時に設け、校内における普及活動を行うとともに防災意識の向上を図る。</li> </ul>
<p>学習指導 （教務部）</p>	<p>担任業務の軽減、紙媒体の使用削減のための新学習支援システムの有効活用の研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習支援システム（スクールエンジン）を積極的に活用し、業務軽減を図る。</li> <li>・先を見越してスクールエンジンを使用することで、より効率的な運用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務だけでなく、各教科、各分掌ごと積極的に新システムを動かすことで学校全体で有効的に使用するよう心掛ける。</li> </ul>
<p>読書指導 （図書部）</p>	<p>資料、情報を利用、活用することで知的好奇心や探究心を満たしてくれる場としての図書館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書会、ブックトーク、教養講座を通じて多様な考え方や知性を磨くとともに、俯瞰して事物を捉える。</li> <li>・身近な問題の本質を把握し解決するために、蔵書を検索し活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の図書委員としての仕事を、生き生きとこなしてくれる。</li> <li>・図書館利用者の読む目的がある場合、館内蔵書からレファレンスできるようコミュニケーションをとる。</li> <li>・その本の面白さを発信できるような展示や紹介を心がける。</li> </ul>
<p>研修 （研修部）</p>	<p>生徒の1人1台タブレットの効果的な利用法の研究 国際理解教育の推進と国際理解コースの活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後導入される1人1台タブレット等のICT機器について、どのように活用していくかを考える。</li> <li>・3年間を通じた国際理解コースの在り方について考え、それに合わせて行事の精選や内容の検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクター等ICT機器の使いやすい環境を整える。</li> <li>・タブレットの利用規則や扱い方の手引き等を作成する。</li> <li>・国際交流に関して外部機関との連携を図る。</li> </ul>
<p>生徒指導 （生徒指導部 生活担当）</p>	<p>交通事故の防止に努めるとともに、より一段高い交通安全意識を持たせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全指導の実施</li> <li>・ヒヤリマップ（本校での過去の事故例）を活用した通学路危険箇所マップの作成</li> <li>・交通安全講話等による啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒参加による通学路危険箇所マップを掲示及び作成する</li> <li>・交通安全県民運動の期間の交差点等での指導</li> <li>・学期当初に重点的に安全指導</li> <li>・交通安全講話</li> </ul>
<p>生徒指導 （いじめ対策委員会）</p>	<p>いじめの未然防止と早期発見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活アンケート、相談アンケート、学期始めの担任による面接等を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの実施と担任面接や日常の観察により未然防止と早期発見に努める。</li> </ul>
<p>生徒会活動 （生徒指導部 特活担当）</p>	<p>生徒会行事の内容検討と生徒会活動の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会行事の内容検討と綿密な計画</li> <li>・生徒会活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画、準備、練習、本番の各段階で達成感や充実感を味わうことができるよう取り組ませる。</li> </ul>

進路指導 (進路指導部)	生徒の進路実現に向けた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年、時期における適切な進路指導を学年と進路で連携して行う。</li> <li>高大連携事業やキャリア教育を充実させる。</li> <li>担任による継続的な面接指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年において、進路に関する適切な情報を多く与えるとともに、生徒自身にも情報を収集したり調べたりするように促す。</li> <li>1年次から継続したキャリア教育を行い、将来の夢を見据えた進路指導を行う。</li> <li>継続的な担任面接や助言を充実させることで、生徒に高い意識を持たせる。</li> </ul>
保健活動 教育相談 (保健環境部)	こころとからだの健康保持増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らがけがの予防及び新型コロナウイルス感染予防につながる行動選択がとれる生徒を育成する。</li> <li>性教育とがん教育の健康講座を実施する。</li> <li>ストレスマネジメントを活用したセルフコントロールのできる生徒を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>けがの予防の啓発と正しい手当てによる再発防止に向けた指導を積極的に行う。</li> <li>感染症の正しい理解と日常生活における健康チェック、手指消毒、黙食、活動場の換気などを実践できるように指導する。</li> <li>部活動代表生徒等にAED講習及び熱中症予防指導を実施し、緊急時に対応できるように指導する。</li> <li>産婦人科医ならびに看護師による性教育及びがん教育を通して、生涯にわたる健康教育をおこなう。</li> <li>各学年ごと生徒の個別情報を把握し、状況に応じてスクールカウンセラーへつなげるなど、早期に対応できる相談活動の充実を図る。</li> </ul>
1年学年会	東高生としての自覚を持たせ、学習・部活動・行事に積極的に取り組む姿勢を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立</li> <li>学習と部活動の両立</li> <li>進路意識の向上</li> <li>自発的な行動</li> <li>良好な人間関係の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東高生としての品位、時間やマナー・ルールを守る姿勢、奉仕の精神を養う。</li> <li>明るく元気な挨拶をする習慣をつける。</li> <li>授業を中心とした学習と家庭学習を習慣化し、基礎基本を徹底して身につけさせる。</li> <li>部活動や各種行事を通して広く豊かな人間関係を築く中で、思いやりや感謝の気持ちを育む。</li> <li>何事にも積極的に取り組ませ、学校生活の充実を図る。</li> </ul>
2年学年会	落ち着いた規律ある高校生活の充実 計画的な学習と学力の定着 将来の目標を踏まえた進路意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶や身だしなみ、時間の厳守、行事や部活動に積極的に参加し目標をもって全力で取り組む姿勢を育む。</li> <li>ICT機器の効果的な活用について考え実践させる。</li> <li>部活動、学校行事、修学旅行への主体的参加を通し、協働性を高め、良い人間関係を築く。</li> <li>予習→授業→復習のサイクルを定着させ、計画的な家庭学習をさせる。</li> <li>将来の人生設計を適切に支援し、高い進路目標が設定させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勉強と部活動の両立調整をし、家庭学習を習慣化させる。</li> <li>担任面接や大学調べ、オープンキャンパスを通して進路目標をより明確にさせる。</li> </ul>
3年学年会	進路目標達成への弛みない努力と実現 たくましく生きる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習時間調査の継続的な実施</li> <li>面接指導の充実</li> <li>学習指導の充実</li> <li>最高学年としての自覚の促進</li> <li>主体的な行動を促す機会の設置</li> <li>時期に応じた生徒への適切な声掛け</li> <li>コロナ感染予防対策の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が年間を通して担任面接と進路相談を受けられる環境を作る。</li> <li>予習・授業・復習のサイクルの継続を徹底することで授業の充実を図るとともに、業後課外や学習会への積極的な参加を促す。</li> <li>自ら積極的に考え、主体的に行動するように促す(学習面と生活面)。</li> <li>HRや学年集会を通し各行事への積極的な参加を促し統率力、協調性、社会性を育成する。</li> </ul>
職員の健康保持 (衛生委員会)	勤務時間の適正な管理 教職員の健康障害防止とメンタルヘルス保持	<ul style="list-style-type: none"> <li>多忙化解消に向けた業務の適性化を図る。</li> <li>学校開錠時間及び施錠時間を遵守する。</li> <li>愛知県公立学校の教育職員の適切な管理等に基づき、在校時間を客観的に把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに、ストレスチェックの結果の活用や高ストレス者に対する医師の面談指導を通じて教職員の適切なメンタルヘルスの保持に努める。</li> <li>学校開錠時間、施錠時間の遵守に努める。</li> <li>時間外勤務等時間の上限(1か月45時間、1年360時間)が遵守できるよう業務改善・分担の見直しを行う。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 120年の歴史と伝統を発展させ、時代に対応した教育活動を展開</li> <li>② 持続可能な開発目標であるSDGsの視点を踏まえた学びの推進</li> <li>③ 「新しい生活様式」を踏まえた衛生管理と、学校ならではの学びの最大限確保</li> <li>④ 交通安全意識と交通マナーの向上、他の人々や地域の安全に貢献できる生徒の育成</li> <li>⑤ 学校や地域に貢献できる防災リーダーの育成</li> <li>⑥ 校務支援システムなどの推進による校務の効率化と職員の多忙化解消</li> </ul>		